

～男女共同参画社会に向けて～

D^{ドゥマーン}emain

※Demain はフランス語で“明日”という意味です。

男女共同参画週間記念講演会 2018 鈴木おさむさんの 講演会が6月23日(土) に開催されました。



1972年千葉県で生まれた鈴木さんは高校時代に放送作家を志し、大学在学中の19歳で放送作家デビュー。運命的な大島美幸さんとの出会いから数ヶ月後には交際0日で結婚。お笑い番組を作るのが仕事の鈴木さんとお笑い芸人の美幸さんは「面白いものを作る」という“背骨”が同じだという。そんな鈴木さんの結婚後のご自身の変化や家族への想いをエピソードを交えながらお話いただきました。2度の流産の悲しみを2人で乗り越え、美幸さんがいつまで続くか分からない妊活休業を取った際には「夫として自分は何もなくていいのか？」という想いから第一子誕生後に放送作家を1年休業し、妻を産後半年で仕事復帰できるようサポート。夫婦で気持ちをシェアする。失うものもシェア、痛みもシェアしなきゃと思った。子育てにおいては他の子と自分の子の成長を比べてしまう自分に気づいたが、重度の障がいをもつ16歳の甥が始めて1人でトイレでうんちができたと姉から喜びのメールがきて、その時スピードは人それぞれでいいんだと思い、自分の考え方がすごく変わり「自分達のカタチって色々あるということを意識しようと思った。」という。会場は幾度となく笑いに包まれ、時にはホロリと涙する場面もあり大盛況の中、講演会は終了し



ました。ご来場いただいた方々の感想をほんの一部ですがご紹介します！

「家事・育児はずっとやってきましたが今日の講演で気づきの大切さと行動力の必要性を感じました。」(50代男性)

「こんなに集中して聴いた講演会は初めてでした。主人と2人で聴けて良かったです。」(20代女性)

「結婚して子どももでき同じ目線で聴くことができ共感することができた。」(20代男性)

「大島さんとの関係も男女共同参画のロールモデルのように感動しました。」(60代女性)

「大島さんのおかげで妊活を人に言い易い雰囲気が出た感じが世の中にできた気がします。」(30代女性)

「話の要所で格言のような胸にしみる言葉がありました。いろいろな場面で思い出すと確信しています。」(40代女性)

「素敵なお話でした。自分達もきずなを持って頑張る力をいただきました。」(60代男性)



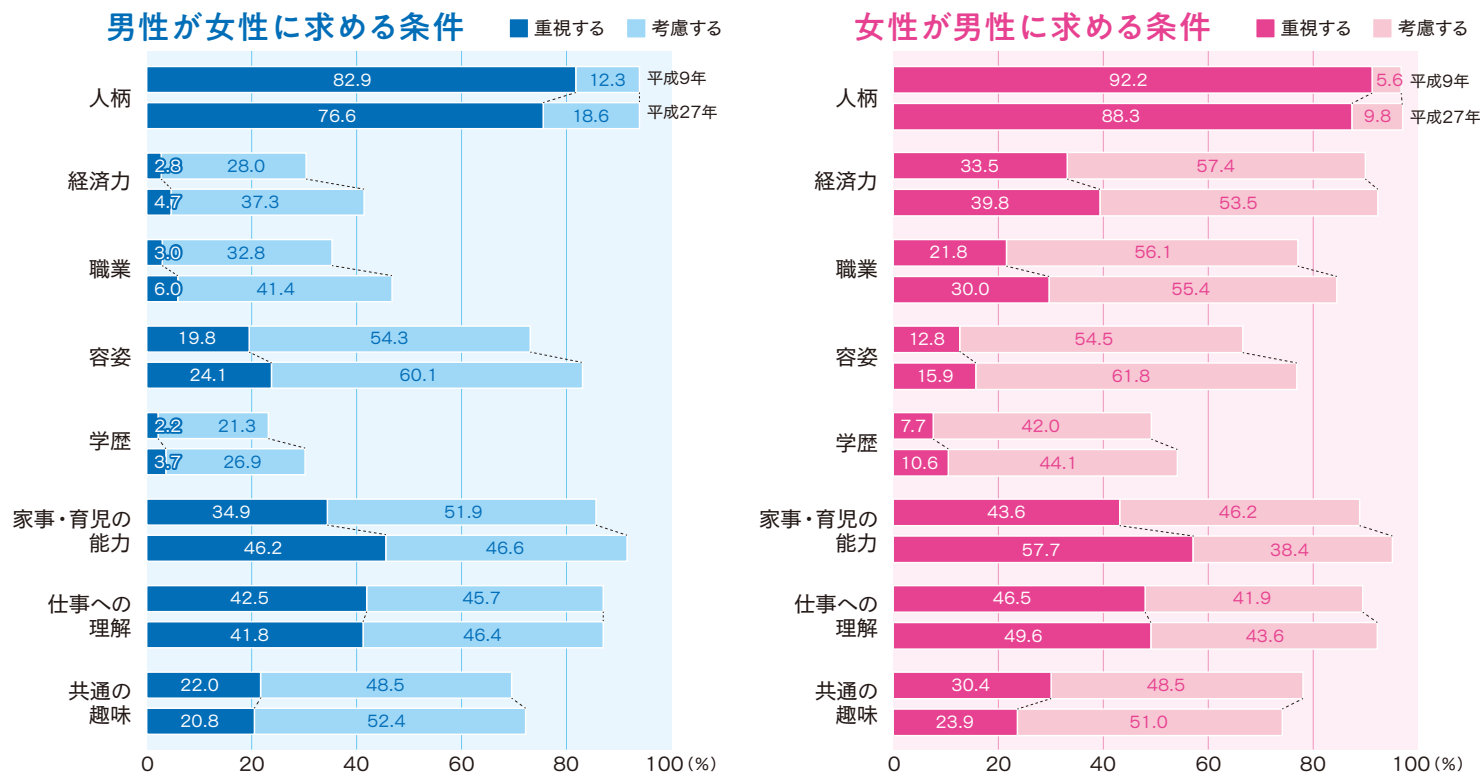
vol.47

2018.7

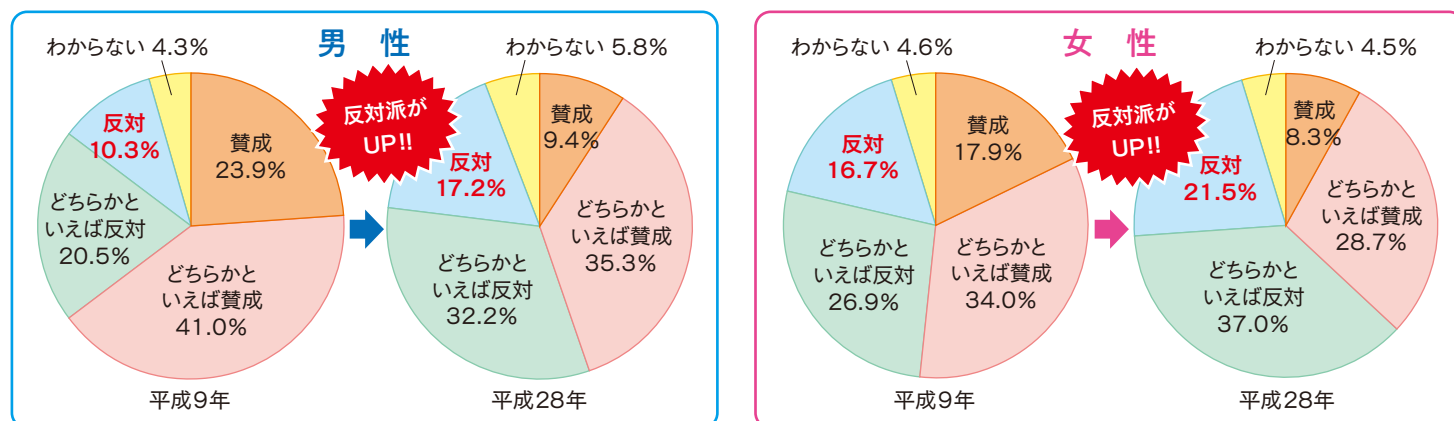
Demain創刊から20年！社会は変わった？あなたは変わった？

「男女共同参画社会基本法」は1999年(平成11年)6月23日に公布・施行されました。その1年前にDemain創刊号が発行されました。その20年前私たちの意識や社会はどうだったのか数字からみてみよう！(平成9年～平成29年で比較しています。)

1 結婚相手に求める条件 (国立社会保障・人口問題研究所 結婚と出産に関する全国調査より)



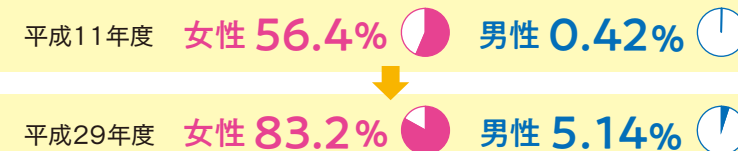
2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する意識 (内閣府 男女共同参画社会に関する調査より)



男女共同参画社会に向けての国の取り組み

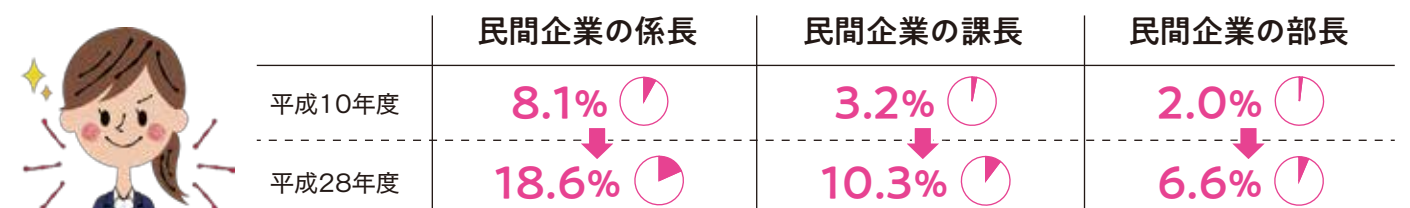
平成28年4月 女性活躍推進法 施行 **「活躍したい女性を後押し！」**
 平成30年5月 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律案 **「国政選挙などで候補者の男女比を均等にしよう 政党に努力義務を課します！」**

3 育児休業取得率 (厚生労働省 H29年度雇用均等基本調査(速報版)より)



29年度の男性の取得率は過去最高！
 だけど女性と比べると…

4 階級別役職者に占める女性の割合 (内閣府 男女共同参画白書より)



国際労働機関(ILO)の最新の報告書によると、日本の女性管理職の比率は11.1%にとどまり、108の国・地域別ランキングでは96位となった。

日本の割合だけみると増えていますが、世界と比べると後進国の日本。ILO曰く日本では、性別による固定的な役割分担が根強く残っている。それは労働市場への女性の参加、特に意思決定への参加を制限しているとのこと。

5 職種別 (厚生労働省 医師、歯科医師、薬剤師調査の概況より)



寿司職人をはじめ職人と呼ばれる職業、CA、パイロット、看護師、整備士、タクシードライバーさんなどの男女比はどうだろう？

今回は20年前と比較しましたが、20年後、2038年の私たちの意識はどうなってる？
 どうなっていてほしい？ みんなが住みやすい社会を目指したいですね。

男女共同参画推進団体の紹介

朗読ボランティア響

平成12年度、市社協主催の朗読奉仕者養成講座を受講。受講終了後に「響」を立ち上げました。グループ名には、聴いてくださる方の心に響く読みたいという思いを込めました。点字図書館「むくどり文庫」での新聞などを読む会は随分続いています。公共の電波に乗らない裏話や、ホットな話題をメンバーそれぞれがアンテナを高くして収集し、お伝えしています。視覚障害者の方々の旺盛な知識欲に私達も大いに刺激を受けます。ニュースを深く掘り下げることも度々です。会が大相撲の場所中だと、「その力士はハンサムかい？」などと尋ねられ、「個人的感想ですが、いけてます」などとお答えし、和気あいあいの交流です。これからもこの関係を更に深めていきたいと思います。2年



前の地震で、しばらくお休みしていた府内こどもルームの読み聞かせも再開。月に一度の勉強会は、新しい方も加わり、活性化しています。興味のある方はどうぞ覗いてみてください。

センターはこんなところ



おそびに
きてね



センターからのお知らせ

～セミナーと講演会～

年間24回さまざまなテーマでのセミナーや著名人を招いての講演会を開催しています。情報希望の方はQRコードまたは、下記メールアドレスに「情報希望」と明記し送信してください。



E-mail: danjokyodo@lime.ocn.ne.jp

～出前講座～

男女共同参画に関する理解を深めていただくことを目的に講師を派遣しています。職場や学校、団体の研修会などにご利用ください。開催日の1ヶ月前までにお申込みください。

ご相談 情報

◆ 女性のためのなんでも相談

専用電話 TEL.097-574-5578

火・木曜日 …… 午後2時～午後8時
月・金・土曜日 …… 午前10時～午後4時
※ 祝日・休館日を除く

◆ 心の整理を

目的とした傾聴相談【面接】

予約電話 TEL.097-574-5577

毎週水曜日 …… 午前10時～正午／午後1時～午後3時

要予約
(当日可)

大分市男女共同参画センター

〒870-0021 大分市府内町1丁目5番38号(コンパルホール2階)

TEL.097-574-5577 FAX.097-537-3666

E-mail danjokyodo@city.oita.oita.jp



大分市男女共同参画センター



検索

- 開館時間／午前9時～午後10時
[事務室・交流スペース] 午前9時～午後5時(※火・木 午前9時～午後9時)
[会議室] …… 午前9時～午後10時
- 休館日／第2月曜日 ※国民の休日と重なった日はその日以降の休日でない日
年末年始(12月28日～1月3日)